

提出資料の記載要領

1 履歴書（様式1） ※ 別紙記載例に沿って記載すること。

- (1) 本籍地 : 都道府県名を記載する。
- (2) 生年月日 : 生年月日を記載する。
- (3) 学歴 : 高校卒業から大学院研究科までを記載する。
- (4) 資格 : 学位及び医師等の資格取得年月と登録番号を記載する。
(例) ○○大学 学士(△△学) . 第○○号
○○大学 修士(△△学) . 第○○号
○○大学 博士(△△学) . 第○○号
- (5) 職歴及び研究歴 : 研究員(生)における履歴も、この欄に記載する。
- (6) 所属学会 : 所属している学会名、役職を記載する。
- (7) 学会賞、公的補助金等 : 文部科学省科学研究費補助金等を記載する。

2 教育活動実績（様式2）

過去5年間の教育活動実績について記載する。

(1) 学部等教育の担当科目実績

- ア 学部もしくは専門学校等における科目担当実績について記載する。
- イ 担当科目ごとに記載する。
- ウ 他大学での非常勤講師として担当している科目についても記載する。
- エ 科目責任、分担の別を記載する。
- オ 担当年度をとする。
- カ 備考欄には、担当内容、授業の特徴などを自由に記載する。
また、シラバスがあれば添付する。
- キ 助手の職制にあつては、実習指導に当たった実績も担当科目として記載する。
- ク 担当科目の授業評価に関する資料(学生による授業評価結果等)を添付する。

(2) 大学院教育の担当科目実績

学部等教育の担当科目実績と同様に記載する。

(3) 大学院論文指導実績

主指導・副指導それぞれについて、主な指導論文5編以内を記載する。

(4) 教育指導力の向上に関する実績

① F D 関連への参加実績

- ア Faculty Development (F D) 関連で参加した研修会・研究会・講演などの参加実績について、記載する。
- イ 参加年を記載する。
- ウ 主なる内容を自由に記載する。

② 教育方法の創意工夫

特に工夫していることについて、自由に記載する。

③ 教育に関する講演・研究の実績

実績について自由に記載する。

なお、講演実績がある場合は、6の社会的貢献の記載方法に準じて、また、研究業績がある場合は、3の業績目録の記載方法に準じて記載する。

(5) 学生指導

学担、課外活動等への恒常的支援内容について、自由に記載する。

3 業績目録

「業績目録の記載にあたって」の指示に従って、作成すること。

4 学内活動実績(1) (様式3)

過去5年間の大学・学部・学科での委員会における活動実績を記載する。

- (1) 担当委員名 : 委員会で委員長等の職制にあるときは、それを記載する。
- (2) 年間委員会開催回数
- (3) 委員会の活動実績 : どのような役割・成果を示したかなどの活動実績について自由に記載する。

5 学内活動実績(2) (様式4)

過去5年間の委員会以外の大学・学部・学科における活動・参加実績について、自由に記載する。

例) 現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム等)、プロジェクト、公開講座、学科内での役割等

6 社会的貢献 (様式5)

過去5年間の社会的貢献について記載する。

活動期間は全て西暦で記載する。

(1) 公的会議及び役職等について記載する。

例) 国家試験委員、審議会など

(2) 学会・職能団体に対する貢献等について記載する。

例) 会長、理事、評議会、部長、役員、部員、学会長、準備委員長、運営委員、座長、編集委員、査読委員など

(3) 国際貢献について記載する。

例) JICA、青年海外協力隊など

(4) 市民を対象とした講演会、技術指導等について記載する。

例) 市民講座、研修会講師、健康祭りなどイベントでの講演・実技指導・啓蒙活動など

(5) ボランティア活動等社会奉仕活動を記載する。

例) 災害時の支援活動など

※ 1～6の各様式について、記載する行が足りない場合は適宜追加すること。

7 『これまでの教育、研究に係る業績及び今後の抱負について』は2,000字以内にまとめたもの(任意様式)